

授業科目 性と生殖

【担当教員名】 塚本康子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

助産診断の根拠となるように、また助産師の役割を考察するために、人の性と生殖として概念、発生の機序、形態と機能、生理、生殖に関する諸問題について学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 人間の性と生殖の概念を述べることができる。
2. 人の発生の機序と遺伝について説明できる。
3. 生殖器の形態と構造、生殖機能を説明できる。
4. 女性の思春期と更年期における生理を具体的に説明できる。
5. 生殖に関連する諸問題を説明できる。
6. 性と生殖における助産師の役割を考える。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	人間の性と生殖の概念	1	講義
2	人の発生と遺伝	2	講義
3	生殖の形態と機能	3	講義
4	思春期における性	4.6	グループワーク
5	更年期における性	4.6	グループワーク
6	生殖に関連する諸問題Ⅰ	5.6	グループワーク
7	生殖に関連する諸問題Ⅱ	5.6	グループワーク

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	助産学体系第3版 第2巻 人間の性・生殖	青木康子他編	日本看護協会出版会	2004 3,360円(税込み)
参考書	必要に応じ随時提示します。			
その他の資料				
【評価方法】 出席(10点) 試験(90点)	【履修上の留意点】 性にまつわる問題から助産師の役割を考究して欲しい。			